

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 5 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

①（仮称）北本町新保育園について

(2) 地域活動支援事業について（公開）

① 審査・採択

3 開催日時

平成 29 年 6 月 21 日（水）午後 6 時から午後 9 時 05 分まで

4 開催場所

上越市役所木田庁舎 4 階 402・403 会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：安楽大、今井孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、加藤幸吉、金子隆一
佐藤美奈子、渋谷俊（副会長）、田沢浩、田中幸晴、谷健一、新野武宣
野澤武憲、橋本桂子、藤田晴子、星野剛、吉田幸造（会長）、吉田実
鷲澤和省（欠席 1 人）

・保育課：小山副課長、倉石施設配置適正化係長、柏村主任

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

【吉田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：藤田委員に依頼
議題「(1) 報告事項 ① (仮称) 北本町新保育園について」に入る。保育課に説明を求める。

【保育課：小山副課長】

- ・挨拶

この度は、現在、整備を進めている（仮称）北本町新保育園について報告をする。現在、整備を進めている（仮称）北本町新保育園の移転整備に伴う園の名称などについて報告に伺った。この移転整備については春日区地域協議会、保護者、地域の皆様方からご理解とご協力をいただき、順調に事業が進められていることに感謝申し上げます。

現在の進捗状況について報告する。（仮称）北本町新保育園の移転整備については、平成27年度に事業着手し、昨年12月に春日区地域協議会の皆さんに移転整備に関する諮問をさせていただいたところだ。工期については、昨年度から建築本体工事、電気設備工事、機械設備工事の各種工事が進められている。5月末現在の工事の進捗率は全体の37%であり、計画どおりに進んでいる。建設現場では、建物の2階部分のコンクリートの打設に向けた作業が行われている。8月上旬には建物の全ての形が出来上がり、姿を現す予定となっている。その後は、内装工事や各種設備、設置工事等を経て10月末に竣工する予定となっている。10月からは駐車場、園庭の工事、園庭に設置する遊具の設置工事等に着手し、11月末には竣工する予定である。建物の完成後については備品等の搬入を行い、来年の4月の開園に向けた準備を進めていく。

次に、（仮称）北本町新保育園の名称について報告する。移転整備後の名称については、これまで北本町保育園に通う園児の保護者の皆さん、移転先の土橋町内会の役員の皆さん、そして現在の北本町保育園に関係する北本町1丁目から4丁目、幸町、栄町、新町の高田8ブロックの町内会長の皆さんからそれぞれ集まっていただき、ご意見を伺った。市では保護者や地元町内会の皆さんからいただいた意見を参考にして8月上旬には保育園の名称を決定したいと考えている。

園の名称も含めて今後も、春日区地域協議会の皆さんに対して、（仮称）北本町新保育園の移転整備の関係についてはご報告にあがりたいと思っているので、よろしくお

願います。

【吉田会長】

今の報告に質疑を求める。

【鷺澤委員】

交通安全については、配慮いただきたいということを強く要望し、答申には附帯意見を付けたが、その点についてはどのように話合いが進んでいるのか教えてほしい。

【保育課：小山副課長】

12月21日に附帯意見をいただいたので、保育課、道路課、市民安全課と協議した。その後、現地の交通量調査を行っている。その結果を参考にしながら、こういった対策が取れるのかを検討中である。交通安全教室の開催などのソフト面や道路拡幅などのハード面での方向性が決まったら、ご報告したいと考えている。

【鷺澤委員】

分かった。

【吉田会長】

以上で報告を終了する。

— 保育課退席 —

次に「(2) 地域活動支援事業について ①審査・採択」に入る。進行は大竹副会長から行っていただき、採決が必要な場合には、会長の私が採決をとることとして進め行くがそれでよいか。

(「はい」の声)

本日の調整の方法は前回の会議で全体会で行うことに決まった。なお、個々の減額案検討シートは印刷終了後配布する。本日の進め方について、事務局に説明を求める。

【山田センター長】

・「当日の審議の進め方」により説明

【吉田会長】

これから先の進行は大竹副会長に任せる。

【大竹副会長】

まず、何位の事業までを採択とするか、協議を行う。なお、補助額の審査と決定は、採択する事業が決まってから行う。まずは補助額に関係なく採択する事業を決めていく。最下位の事業から採否を決定し、その事業が採択された時点で、それ以上の事業

も採択となる。

— 各委員の減額案検討シート配布、確認 —

【大竹副会長】

最終的には下位の事業から採否を決めるが、目安としてどの事業までを採択するかどうかの意見を求める。

(発言なし)

最下位の事業から上位にのぼって採択事業を決定していく。最下位の春-16について意見を求める。

【田沢委員】

優先採択方針で適当と不適當の数が書いてあるが、これを見る限りでは、ほぼ採択してよいと思う。全事業を採択して減額するのが順当だと思う。

【今井委員】

優先採択方針のうち、15位～17位までの3事業は4分の1に値する5人が不適當を付けているので、減額案ではこの3事業を不採択で提出した。最下位の事業でも不適當は2人である。採択された場合に、最下位よりも順位が上でも不適當とした人が5人もいるのに、自動的に採択となり、減額ということになると個人的には15位～17位は疑問を思う。個人的な意見を通すつもりはなく会の総意に従うので、皆さんの意見を聞きたい。

【大竹副会長】

不適當というのは、全体の不採択をするか否かのときに判断するものであり、全体の点数で順位付けが決まることを考慮いただきたい。

【鷲澤委員】

20位については、提案された内容を重視して考えたいと思う。春-16は採択でよいと思う。

【吉田実委員】

順位を考慮して補助額はそれなりに減額した金額であれば、採択でもよい。

【大竹副会長】

春-16が採択となると、この事業より上位は全て採択になるのだが、よいのか。

(「はい」「異議なし」の声)

【加藤委員】

各委員の減額案検討シートを見させていただいたが、7位や8位の半ばの順位の事業で、補助額が0円になっているものがある。今の話からすると最下位が採択され、それより上位は採択となるのならば、途中の事業が不採択となっているものはおかしいと思う。

【大竹副会長】

飛び越えて不採択はない。あくまで各委員の減額案なので、その辺は間違えないようお願いする。20位の春-16が採択となったら、全て採択となるがよいのか。

【田沢委員】

全て採択としても、減額すればよいのではないか。

【野口係長】

今、審議しているのはどの事業を採択するかどうかで、金額のことはまだ考えないでいただき、事業を採択するかどうかだけを考えていただきたい。

【谷委員】

点数をある程度基本として、内容を考慮していけばよいと思う。

【大竹副会長】

今は、採択するかどうかの話で、点数云々ではないことを、ご理解いただきたい。

【吉田会長】

春-16を採択する委員は挙手願う。

(11人挙手)

春-16は採択ということで決まった。

【大竹副会長】

春-16が採択となったので、全ての事業が採択となった。

採択の決定により、補助額の審議に入る。採択事業別に、上位の順位事業から個別に協議していく。春-5について意見を求める。

【金子委員】

新聞等でもご存じのとおり、地元の人や子供たちと活動しているので、満額がよいと思う。

【大竹副会長】

春-5は満額でよいか。

(「はい」の声)

【今井委員】

事務局にお願いだが、数字がどんどん決まってくると、残りがいくらなのかが分からなくなると思うので、プロジェクターで並行してやっていただいてもいいか。

【野口係長】

分かった。

【大竹副会長】

次に2位の春-2について意見を求める。

【鷺澤委員】

謙信交流館での活動を拝見したが、活発に活動されていた。満額がよいと思う。

【今井委員】

プリント代等は他の団体との兼ね合いも考えて、7万6千円は減額したらよいと思う。

【田沢委員】

初めて見学したが、多方面にわたる団体と活動があったので、印刷代も多いのではないかと思った。事務費としてはあまりあげたくはないが、相当多岐にわたっているので、認めたらよいと思っている。

【吉田実委員】

毎年立派な活動をされているので満額でよいと思う。

【大竹副会長】

それでは満額でいいか。

(「はい」の声)

3位の春-13について意見を求める。

【今井委員】

プレゼンテーションのときに菜の花育成は外してもよいという話だったので、3万8千円を削らせていただいたらどうか。

【金子委員】

遊歩道は春日山城跡保存整備促進協議会で草刈り等を精力的に行っている。上越市や春日区で支えていかなければいけない事業だと思うので、満額でよいと思う。

【吉田実委員】

毎年高額な申請があるが、今は仮の金額でやっている。最後のほうでどうしても削らなければいけなくなったときに、ここから削ることを考慮していただきたい。

【大竹副会長】

吉田実委員の意見を考慮して、満額でよいか。

(「はい」の声)

次に、4位の春-15について意見を求める。

【鷺澤委員】

継続して活発にやられているし、少ない金額なので満額がよいと思う。

【金子委員】

御館川も含めて美化活動をやられてきているので、満額がよいと思う。

【大竹副会長】

それでは満額でよいか。

(「はい」の声)

次に5位の春-1について意見を求める。

【今井委員】

プレゼンテーションのときに優先順位を聞いているので、④コルネットと⑤アルトホルンの67万9千円を削ったらよいと思う。どこまで満額にするかによるが、どこかの段階で減額しなければいけないと思う。

【田中委員】

楽器購入を全種類減らして②アルトサクソフォン1台、③テナーサクソフォン1台、④コルネット2台、⑤アルトホルン1台にしたら、54万8千円の減額になるので、次年度購入してもらい減額したらどうか。

【鷺澤委員】

プレゼンテーションのときに、①②③は練習にも影響するし、是非ほしいとのことだった。④については他校から借りていて、修理代もかかるという実態だったので、地域活動を活性化するためにも満額がよいと思う。

【橋本委員】

鷺澤委員と同意見である。

【大竹副会長】

満額で仮決定とする。

次に6位の春-8について意見を求める。

【鷺澤委員】

会費を徴収している重みを考えて、減額がよいと思う。

【田中委員】

会費はカーブミラーを設置したり、街灯の設置に使っている。児童の反射テープにも使っているので、道路の関係は支援事業で使うしかないので満額がよいと思う。

【大竹副会長】

2つの意見が出たが、仮に満額でよいか。

(「はい」の声)

次に7位の春-9について意見を求める。

【田沢委員】

先般、帽子がないと活動ができないのかという話もでたが、衛生面からいっても帽子は個人で持つほうが妥当だと思う。実施するために町内で揃えるということならば、少し補助もよいと思うが、帽子については減額がよいのではないか。

【金子委員】

帽子は必要だと思う。

【橋本委員】

満額にするか、減額するのか、どちらか決めたほうがよいと思うのだが、どうか。今は、どの項目を減額するのかを、決を採って先に進んだほうがよいのではないか。

【大竹副会長】

減額の金額まで決めていくのか。

【橋本委員】

減額の金額を決める前に、減額するのか満額にするのかを先に決めたらよいのではないかと思うがどうか。

【大竹副会長】

今までの推移で、減額するか満額かを決めていき、下位のところまでいって、お金が足りなければ、どこを減らすのかを決める。

【橋本委員】

今、どの項目を削るのかという話に及んでいたもので、そこに至る前に、減額をするのかどうかの決を採ってから進んだほうがよい。満額でよいのかを、聞いたらよいのではないか。

【大竹副会長】

下位にいったお金が足りない場合に困る。

【橋本委員】

そうになったら、また戻ってどれをどうするか細かい話をすればよいと思う。

【鷺澤委員】

今は、仮の金額を決めているので、仮決定しておいて、オーバーしたらオーバーした金額をどこから削るかを再度、最後に決定すればよい。

【橋本委員】

満額で採択したい人と、減額で採択したい人と、減額で採択するにはここを削りたいという具体的な次の段階まで突っ込んだ話をしている人がいる。まずは、満額採択か減額採択かだけの話をして、その後どの項目を削るのかをしたほうがよいと思う。

【太田委員】

事務局の説明だと、全ての事業を満額か減額かを決めてから、金額を決めていくことと思っている。橋本委員の言うのは、1事業ずつ満額か減額をするのかを決めてから、どの項目を削るのかの金額をまでを仮決定して、次の項目に移るということか。

【橋本委員】

満額でよいですね。減額でよいですねと、進んでしまい、意思決定がされていない。

【大竹副会長】

1位～6位までを再確認する。

【橋本委員】

そこまではよいのだが、7位の春-9について決を採ってほしい。

【野口係長】

決は会長から諮ってもらいたい。春-9について満額か減額かを決を採るよう願う。

【吉田会長】

7位の春-9は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

それでは、減額とする。

【大竹副会長】

春-9の減額について意見を求める。

【田沢委員】

帽子は、今回は150個でよいと思う。

【田中委員】

帽子は460個も必要ないと思うので、半分の230個でよいと思う。それと、LEDフレッシュ誘導灯は必要ないと思う。

【今井委員】

細かい内訳を減らす以前に、優先的に欲しいものがあるとは思う。⑦拍子木⑧誘導灯は金額が少ないが、優先順位は低いので、削るならここからだと思う。のぼり旗はセットでないと使えないので、提案団体の優先的順位を考慮して削ったらよいと思う。

【橋本委員】

優先順位は、こちらからお願いして付けてもらった経緯はある。項目を見ると、帽子かベストか、どちらかがあればできるように見える。今井委員の言うように⑦⑧をとりあえず削っておいても、あとで最終的に大幅に削らなければいけない場合を考えないといけない。帽子を半分という意見もあったが、半分にすると町内に振り分けるという問題が出てくる。削るのであれば、項目ごとに削る方がよいのではないかと思う。

仮決定では⑦⑧でよいが、後で削らなければいけなくなったときに、帽子を削る可能性を残して仮決定するのがよいと思う。

【大竹副会長】

それでは⑦⑧の6万8千円を減額するということでよいか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

8位の春-12は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(3人)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額とする。

【大竹副会長】

春-12の減額について意見を求める。

【田沢委員】

④指導教員への謝礼については、3万円のできるという話だったので、4万5千円を削ってよいと思う。また③飲料代の7,500円も削ってよいと思う。

【鷺澤委員】

他の事業でも飲料代は認めているところがあるし、さらに2リットルを分けるとなっている。飲料代については認めてよいと思う。

【金子委員】

今回初めて提案された事業なので、なるべく減額は少なくして、結果を見てみたいと思う。

【谷委員】

この事業は大学生が初めて地域に出てきて、自分たちも頑張るやろうということだし、夏の暑い時期なので頑張るやっけていただきたい。

【今井委員】

4万5千円の減額と、飲料については決を採ってもらい仮決定にしたらどうか。

【大竹副会長】

飲料については皆さんよいか。

(「はい」の声)

次に9位の春-4に入る。

【吉田会長】

春-4は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額とする。

【大竹副会長】

春-4の減額について意見を求める。

【田中委員】

子どもの法被はよいが、大人の法被くらは個人で購入すればよいので、大人の分は全部減額でよいと思う。

【今井委員】

全く同じ意見である。ネーム入れ代金も半額にして18万2千円の減額がよいと思う。

【橋本委員】

ネームは60枚単位になっているので、60枚単位で発注かもしれないので大人用法被のみがよいと思う。また、全体的な金額も少ないなかで減額はこの団体にとっては大きいと思うので、減額は12万3千円で仮決定がよいと思う。

【今井委員】

見積もりを見ると、単価×枚数になっているので分けることも可能だとは思いますが、橋本委員の意見に賛同する。ただし、消費税は入れたほうがよいので、13万2千円にしたらどうか。

【大竹副会長】

消費税を入れて13万2千円の減額で仮決定とする。

【吉田会長】

9位の春-7について、満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-7の減額について意見を求める。

【田中委員】

資格取得費用は個人負担がよいと思う。またユニフォームを採択すると、他の野球チーム等からも提案が出てくる。ユニフォームは個人の持ち物だと思っている。

【今井委員】

ユニフォームについてはプレゼンテーションのときに、個人の持ち物ではなくチームの所有だという話があったので、ご理解いただきたい。

【星野委員】

子どもの健全育成についてはなるべく全額支給したらよいと思う。また親の負担を軽減することも大切だと思うので、端数の3万4千円を減額する案である。

【加藤委員】

資格取得費とユニフォーム代と予備費を、減額したらよいと思う。

【田沢委員】

③連盟登録料⑥資格取得費⑦トレーニング用具⑩予備費を減額したらよいと思う。
連盟登録料はそもそもこの団体が存在するという事なので、活動支援事業費で出すのはそぐわないと思う。

【橋本委員】

ユニフォームは子どもたちが一番喜ぶ部分だと思うので、ユニフォームは削るべきではないと思う。減額は③連盟登録料⑤練習会交通費⑨消耗品⑩事務費⑪予備費がよいと思う。

【鷺澤委員】

我々の感覚ではユニフォームは個人の持ち物だと思っていたが、プレゼンテーションでも提案者が話していたが、チームで保管して歴代使用していくということだった。減額対象は、③連盟登録料⑤練習会の交通費⑥資格取得費⑩予備費の、個人負担等の費用は減額がよいと思う。

【大竹副会長】

③連盟登録料は削除でよいか。

(「はい」の声)

⑤練習会交通費は削除でよいか。

(「はい」の声)

⑥資格取得費も削除でよいか。

(「はい」の声)

⑩予備費も削除でよいか。

(「はい」の声)

ユニフォーム代はどうするか。

(「そのまま」の声多数)

【田中委員】

⑨消耗品のテーピング代や熱中症対策品は個人でやるべきものだと思う。

【今井委員】

意見が細かく分かれている。今は仮の段階なので、①公式試合交通費②ユニフォーム代を一旦通しておいて、後で調整したらどうか。

【吉田実委員】

今の意見に賛成である。スポーツクラブの補助では、他のバスケや野球に比べると、

バレーボールは高額である。自己負担がなく、全額申請しているので、半額くらいにするのが妥当ではないかと思う。①公式試合②ユニフォーム代③連盟登録料を採択してよいと思う。

【橋本委員】

先ほど③連盟登録料は多くの人がいないということだった。今井委員の言う①②を仮採択で助成することでよいのではないか。

【大竹副会長】

連盟登録料は必要ないということだったので、①②以外の27万7千円減額ということではよいか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

11位の春-10については満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-10の減額について意見を求める。

【鷺澤委員】

写真代は個人負担でよいと思うので、削ったらどうか。

【金子委員】

交通費については、半額は個人負担してもらい、半額にしたらどうか。謝礼についても、練習するのに1万円掛かっているものを半分にしたらどうかと思う。

【今井委員】

鷺澤委員と同じ意見で、⑥写真代を減額したらよいと思う。

【佐藤委員】

金子委員と同じ意見である。

【谷委員】

交通費の中に貸切の列車の分と、タクシーの分があるので、中身をよく見ないと工面ができないのかなと思う。

【藤田委員】

交通費は減額してよいと思う。優先順位が①でも後で足りなくなった場合は減額してもよいと思う。

【大竹副会長】

後で足りなくなってきた場合は、今のご意見を参考にさせていただく。

それでは、⑥写真代は削除でよいか。

(「はい」の声)

⑤インク代は削除でよいか。

(「はい」の声)

④コピー代は残すことでよいか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

11位の春-18は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-18の減額について意見を求める。

【田中委員】

②③④の帽子⑤背番号⑥コールドスプレー⑦タオル⑧救急バッグは個人負担でよいので、減額がよいと思う。

【加藤委員】

項目がたくさんあるので、申請額の半額の減額をしたいと思う。その中の予算でチームの優先順位で購入してもらえればよいと思う。

【大竹副会長】

減額するときに理由をつけなければいけないので、半額だと漠然としていて説明ができない。

【橋本委員】

地域活動支援事業では協議会委員が事業のどこまで意見をするかラインが難しい

ところである。あくまでも予算が限られているので削ってもらうということで、要らないから削るのではない。必要だから申請してきているし、目的は地域の活性化が主目的のはずなので、そこを信じて審議をしなければいけないと思う。

ユニフォームに係る部分で帽子は優先順位が高くなっているので、帽子を削るのは安易に賛成できない。

【安楽委員】

救急バッグとか、ロージンパック、石灰の小さい金額のものは、このくらいは自分たちで負担してもらいたいので、削ってよいと思う。

【今井委員】

減額するにしても、優先順位の低いほうからのぼっていくと、⑬はボールなので必要かと思い、⑭⑮⑯にすると7千円の減額になる。全体の割合の話になるが、デュークスの下には春日山モルツがあり52万4千円の申請である。金額を見たときに、不均等がでるとよくないと思う。

【吉田実委員】

野球は申請額も少ないし、監督の帽子をカットするくらいで1万3千円の減額でよいと思う。

【鷺澤委員】

減額の基準は、本来自己負担でやるべきものは、自己負担で対応していかなければいけないと考える。野球はユニフォームの申請はきていないので、ユニフォームも個人持ちかもしれない。帽子も個人持ちならば、帽子は必要ないと思う。チームで使うのならば別だが、削ってよいと思う。

【田沢委員】

今の意見はよいと思った。消耗品は地域活動支援事業にはそぐわないと思う。帽子を含めて、⑥⑦⑭⑮⑯は削ってよいと思う。

【大竹副会長】

いろいろな意見がでたが、削除するものは⑮ロージンパックは削除でよいか。

(「はい」の声)

⑯石灰は削除でよいか。

(「はい」の声)

帽子はどうか。

(「削除」の声)

⑦タオルも削除でよいか。

(「はい」の声)

⑧救急バッグはどうするか。

(「生かす」の声)

それでは、削除するものは②帽子③帽子④帽子⑦タオル⑮ロージンパック⑯石灰である。

【今井委員】

90,704円なので9万円の減額である。

【吉田会長】

13位の春-14は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-14の減額について意見を求める。

【鷺澤委員】

市外遠征というのがかなりの金額になっている。ほとんど練習試合だと思う。練習試合のバス代は半額の20万円くらいは削ってよいと思う。

【大竹副会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

それでは、遠征費半額の20万円ということでよいか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

14位の春-11は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-11の減額について意見を求める。

【田沢委員】

⑤講演・講師謝礼⑥輪投げ賞品代⑦消耗品代⑧写真代は、外してよいと思う。

【田中委員】

①会議用椅子は、町内会で買うべきだと思う。

【金子委員】

②チェアポーターはいらないと思う。余計なスペースもとりし、無いほうがすっきりしていてよいと思う。

【今井委員】

町内会からの補助は無いのかとの質問に対して、各年度3万円の補助はもらっているとの回答であった。町内会からの補助で足りないので、申請してきているのだと思う。我々が斟酌するのか、いらないからと削除するのかは、悩みどころだと思う。

先ほどから削ることに対して、少し偉そうになってきている気がする。このような感じだと、提案団体から地域協議会に対して不平や不満が出るのではないかと思う。もう少し真剣にやらなければいけないと思う。僕は、⑤⑥⑦⑧を削ることに賛成である。

【大竹副会長】

②チェアポーターは削除するか。

【橋本委員】

とりあえず、⑤⑥⑦⑧を削除することでよいと思う。また、お年寄りにはチェアポーターがあったほうが、片付けやすいと思う。

【金子委員】

かえって、チェアポーターがないほうが片付けやすい。

【今井委員】

それは今、僕たちが決めることではない。スポーツをやらないから、スポーツのものは一切いらないということと一緒に、自分はこう思うからではなく、20人の意見も出ているので、それを踏まえて考えたほうがよいと思う。仮に減らしていったら、2巡目でまた考えたらよいのではないか。

【吉田会長】

チェアポーターは削除という委員は挙手願う。

(9人)

【大竹副会長】

⑤講演・講師謝礼⑥輪投げ賞品代⑦消耗品代⑧写真代、については削除でよいか。

【吉田実委員】

⑤講演・講師謝礼代は残してよいと思う。

【大竹副会長】

⑤講演・講師謝礼は残してよいか。

(「はいの声」

⑥⑦⑧の削除でよいか。

(「はい」の声)

6万2千円の減額である。

【吉田会長】

15位の春-3について満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

春-3の減額について意見を求める。

【吉田実委員】

かわら亭の入浴料の1万6千円は必要ないと思う。

【大竹副会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

入浴料の1万6千円の減額でよいか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

16位の春-19について満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額となった。

【大竹副会長】

今の段階でいくら残っているのか。

【野口係長】

278万5千円を減額しなければいけない。

【大竹副会長】

春-19の減額について意見を求める。

【田中委員】

うちの町内はあるのだが、町内に提案の防災備品はあるのではないか。市から各町内に防災備品はきているし、同じ町内から地域活動支援事業がもう1つ出てきているし、どういふことなのか理解に苦しむ。

【田沢委員】

名前は同じ町内だが、会計や行事も全て独自で行っているのでは、提案を出されてきているのだと思う。500メートル以上に渡っていたり、高低差があったり、年配者も増えている観点から申請してきているのだと思う。

【鷺澤委員】

基本的には行政単位で考えるべきだが、地域の事情も考慮して、テントや車いすは市の補助対象には入っていないので、①テント②発電機③車椅子は認めてよいと思う。

【大竹副会長】

順位も考慮して考えていただきたいと思う。

【橋本委員】

仮決定で④ヘルメット⑤投光器⑥担架⑦防災用品を削るのがよいと思う。

(「賛成」の声)

【大竹副会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

それでは④ヘルメット⑤投光器⑥担架⑦防災用品合計の14万4千円を削ることによ

いか。

(「はい」の声)

【吉田会長】

17位の春-6は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

【大竹副会長】

減額について意見を求める。

【鷺澤委員】

①リヤカー②タンカー③テントの項目について補助して、先ほどの春-19のテントは12万円だったので、テントの値段を合わせて6万円引く。④メガホン⑤誘導棒を削除したらどうか。

【橋本委員】

先ほどの春-19と春-6のテントは、それぞれの団体が申請しているテントが違うので、金額で合わせるのは少し乱暴かと思う。

【吉田実委員】

この提案は昨年度も出てきたので、2年連続なので、もう少し削ってもよいと思う。
①リヤカー②タンカーのみの補助がよいと思う。

【鷺澤委員】

テントの価格が違うので乱暴との意見があったが、公平性からいって高いものを要望したら認める発想はしたくない。テント代として支給するなら、同金額がよいと思う。

【大竹副会長】

①②を支給する案と、①②③を支給する案がある。

【吉田会長】

①②を支給する委員は挙手願う。

(過半数)

①②を支給し残りは削減する。

17位の春-20は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額とする。

【大竹副会長】

減額について意見を求める。

【吉田実委員】

③パフォーマー出演委託費をカットし、地元の色んな団体や保育園等の出し物にし、父母や祖父母が参加する効果をねらい、できるだけ出費の少ないイベントを考えていただけたらよいと思う。

【田中委員】

①会場設営費は、数年前に活動支援事業でテントを購入しているので、それを使えばよいと思う。

【金子委員】

パフォーマーについては、近隣のところから何かやってくれる人を呼んだ場合でも少しは経費がかかるので、10万円を補助して、会場設営費や警備は会員の方からやっていただけたらよいと思う。

【田中委員】

パフォーマーを呼ばなければ、ワイヤレスマイクは必要ないと思う。

(「それは違う」との声)

【大竹副会長】

イベントを開催するにはマイク等は必要だと思う。

【田中委員】

謙信交流館にマイクはあると思うので、それを使えばよい。

【大竹副会長】

あるとは思いますが、室外用かどうかは分からない。

【加藤委員】

金子委員の言ったように、地元の団体を依頼することにより10万円をカットするということだが、そのような減額の仕方はよいのか。

【大竹副会長】

それはできない。

【加藤委員】

カットするならば、項目を全部である。

【安楽委員】

パフォーマーのステージについて高すぎると思ったので、半額くらいならどうかと思ひ、約26万円かどうか。また、⑨事務消耗品⑩イベント保険はカットしたらどうかと思う。

【渋谷副会長】

安楽委員は半額と言われたが、出演料と宿泊費、交通費等が全て入った金額なので、半額は無理だと思う。

【吉田実委員】

私は③パフォーマーの分を削ったらどうかと言ったが、これを削った場合、この事業ができるのかどうかを提案者に確認する必要が多分ある。

【大竹副会長】

今日決めることになるので、時間的に確認は無理だ。

【吉田実委員】

減額はせざるを得ないのだが、金額が決まったあとに、この事業ができるかどうかの確認が必要ということである。

【今井委員】

そういう時にこの順位が重要になってくる。下から3位ということはこの事業の趣旨が理解しきれない部分があったのだと思う。③パフォーマーを減額して、①テントを減額すると70万円になるので決めてもよいと思う。

【大竹副会長】

③パフォーマンス出演料は削除ということでよいか。

(「はい」の声)

①会場設営費は過去に地域活動支援事業でテントを購入してあるとのことなので、削除してよいか。

(「はい」の声)

⑨事務費・消耗費はどうか。

(「生かす」の声)

⑥警備費は自分たちでできないかとの意見があったが、削除でよいか。

(「はい」の声)

【加藤委員】

①会場設営費はテント以外にも看板やバリケードもあるので、削除すると運営できなくなるのではないかな。

【大竹副会長】

仰るとおりなのだが、順位が下のほうなので、順位も考慮して決めていくと仕方がないのである。

【吉田会長】

19位の春-17は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額とする。

【大竹副会長】

減額について意見を求める。

【今井委員】

プレゼンテーションのときから、土地の使用料は無料でできるということなので、土地使用料の6万円は削除できる。順位も下位なので②植え方体験会③花と野菜の栽培は、削除でどうかと思う。

【谷委員】

①の中のベンチ代やテント代も疑問に思うので、削除でよいかと思う。草刈代も、会員のほうできるので削除でよいと思う。

【鷺澤委員】

①もそうだが、②③の報償費や参加費も、削除でよいと思う。ただ、やっている活動は休耕地を皆で耕してやっていこうということなので、これから参加者の共鳴を得られるような活動を行って行っていただきたい。製本代はよいが、苗代やその他は削除したほうがよい。

【大竹副会長】

①②③④をカットして、印刷製本費だけを残して、他は削除でよいか。

(「はい」の声)

【今井委員】

②と④の印刷製本費を残すことでよいのか。48万4千円の減である。

【吉田会長】

20位の春-16は満額がよいと思う委員は挙手願う。

(半数以下)

減額がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数)

減額とする。

【吉田実委員】

順位も最下位なので、①武将甲冑1領以外は削除でよいのではないか。また、来年以降も申請できる。

【橋本委員】

②子供武者を支援するのがよいと思う。

【加藤委員】

橋本委員と同じ意見だが、展示をする場所も作るということなので、②子供武者と④展示用クリアケースを支援したらよいと思う。

【橋本委員】

④クリアケースを支援した場合、ケースしかないと展示するものはあるのか。

【野口係長】

昨年子ども用の甲冑を2領購入してあるので、②を支援した場合は、合計で3領になるので、展示するものはある。

【橋本委員】

展示しておいて、使うときに出して使うのか。

【大竹副会長】

そういうことだと思う。

【田沢委員】

②と④を補助すると40万円くらいになるが、この事業よりも上位の事業の金額とのバランスも考えたほうがよいと思う。

【吉田実委員】

④展示用のアクリルケースは、あくまで武将の甲冑を入れるためなので、子供のも
のを認めるのならばケースは1個あればよい。

【田中委員】

今現在、子供用のものは2領あるので、今回の1領分でケースはそれを含めて3個使う
という話ではなかったか。

【吉田実委員】

昨年のもものは、展示用ではないのではないか。

【橋本委員】

順位も最下位のため、②だけ支援することがよいのではないか。

【大竹副会長】

それでは、②子供武者甲冑だけ支援することでよいか。

(「はい」の声)

金額的にはどうなっているのか、事務局に確認願う。

【山田センター長】

34万6千円が残っている。

— 減額の確認を行う —

【大竹副会長】

34万6千円が残っているが、どの提案事業に足すか、意見を求める。

【吉田実委員】

春-20でテントの話がでて、②会場設営費を削ってしまったが、他のものも入ってい
るのでイベント自体ができなくなるので、テントの3万円以外は復活すべきだと思う。

【橋本委員】

先ほどからテントの話がでていますが、テントは持っていてさらに、必要だから申
請を出しているのかもしれない。それを、持っているから必要ないとするのはどうか
と思う。これだけ残金がでて仮決定でよいということであれば、②会場設営費は復活
したほうがよいのではないか。

【今井委員】

橋本委員に同意する。

【吉田会長】

春-20の②会場設営費を復活させてよい委員は挙手願う。

(過半数)

【金子委員】

春-12のプレハブトイレは初めての提案なので、4万5千円を復活させたらどうか。

【今井委員】

本当は減らしたくないのかもしれないが、身内の先生なのでどうにかならないかということで、減額できる回答を得たので、このままでよいと思う。その上の順位で春-9で6万8千円を減らしてあるが、順位から見て春-9の誘導灯と拍子木を復活したらどうか。

【大竹副会長】

金額的には春-9と春-12の減額した分をいければ金額的にもちょうどよいので、両方復活したらどうか。

(「よい」の声)

その結果、残りは2万2千円だが、他に意見を求める。

【太田委員】

春-18の野球のボールは残すことになったが、春-7のバレーボールはボール代がカットされた。プレゼンテーションのときにボールがツルツルだとお話されていたので、金額的には2万9千円には足りないが、2万2千円を足してあげたらどうか。

【大竹副会長】

今の意見でよいか。

(「はい」の声)

最後に附帯意見を付す事業の有無について確認していく。附帯意見は補助金の交付決定通知に記載され、交付条件に値する。条件付き決定と言えることであるので、むやみに意見を付すことは望ましくないが、これだけは必要だというものがあれば発言願う。

【今井委員】

提案事業のフィードバック等の機会が必要だという話が以前あったが、今回は附帯意見のかたちで付けず、各団体と深くやり取りできる機会を模索すればよいと思う。

【橋本委員】

質問だが、附帯意見は重いものと分かったが、減額採択された団体が納得できるような減額の説明やフォローはされるのか。減額採択の団体には、励みになるような

言葉を付け加えて伝えていただきたい。

【大竹副会長】

結論的に言うと、提案された事業よりも他に優先する事業があったためということになると思う。

【谷委員】

春-13の遊歩道の整備でチップ舗装が残念な結果もあったので、遊歩道の維持管理をしっかりとやっていただきたいということを附帯意見として付けたほうがよい。

【大竹副会長】

それでは春-13に「遊歩道の維持管理をしっかりとやっていただきたい」ということで最終的に事務局が整理し正副会長が確認することで、附帯意見を付けることでよいか。

(「はい」の声)

以上で審査、並びに採択と附帯意見にかかる全ての審議が終了した。会長に進行を戻す。

【吉田会長】

以上で、「(2) 地域活動支援事業について」の「①審査・採択」を終了する。

次に、「3 その他」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

提案書の金額で誤植があった。春-19の4ページの②発電機が1万7,720円となっているが、正しくは17万1,720円となるので訂正願う。

採択金額が決定したが、改めて事務局で精査して正副会長に金額を確認していただきたいが、一任いただけるか。

(「はい」の声)

- ・日程調整について説明

【吉田会長】

- ・次回の協議会：7月13日（木）午後6時30分～ 上越市役所木田庁舎402・403会議室
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線 1449、1547）

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。